

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第52期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 ヒーハイト精工株式会社

【英訳名】 HEPHAIST SEIKO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 尾崎 浩太

【本店の所在の場所】 埼玉県川越市今福580番地1

【電話番号】 (049)273-7000 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 佐々木 宏行

【最寄りの連絡場所】 埼玉県川越市今福580番地1

【電話番号】 (049)273-7000 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 佐々木 宏行

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第2四半期 連結累計期間	第52期 第2四半期 連結累計期間	第51期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	621,474	709,460	1,304,556
経常損失() (千円)	34,289	26,383	45,028
四半期(当期)純損失() (千円)	20,086	13,852	38,144
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	20,065	7,660	34,422
純資産額 (千円)	3,003,897	2,981,880	2,989,541
総資産額 (千円)	3,985,798	4,076,750	4,166,033
1株当たり四半期(当期)純損失金額() (円)	3.22	2.22	6.11
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-		
自己資本比率 (%)	75.4	73.1	71.8
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	68,331	66,732	66,282
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	48,130	36,947	119,348
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	102,514	84,945	190,701
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	424,682	596,149	649,566

回次	第51期 第2四半期 連結会計期間	第52期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	2.15	1.31

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待などにより、円安・株高が進行し、景況感は改善傾向にあるものの、実体経済の確実な回復までには至っておりません。また、欧米では景気の持ち直しの動きがみられたものの、中国をはじめとする新興国では減速感がみられるなど海外経済の減速による景気の下振れリスクもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、営業・技術・製造の三位一体体制で顧客ニーズに応えた製品の市場投入と販売の強化及び生産性の向上に努めて参りました。

この結果、売上高は709,460千円と前年同四半期と比べ87,986千円（14.2%）の増加となりました。

利益面につきましては、販売促進のための戦略費用先行が生じたことに加え、新製品等の開発案件の費用化の影響もありましたが、営業損失は28,500千円と前年同四半期と比べ477千円減、経常損失は26,383千円と前年同四半期と比べ7,905千円減、四半期純損失は13,852千円と前年同四半期と比べ6,233千円減となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、国内及び中国での産業用機械業界等の設備投資は、緩やかに持ち直しつつありますが、回復力が弱く、当第2四半期連結累計期間の売上高は589,967千円と前年同四半期と比べ64,494千円（12.3%）の増加となりました。

精密部品加工につきましては、レース用エンジン部品及び一般受託加工の受注増により、売上高は65,718千円と前年同四半期と比べ14,236千円（27.7%）の増加となりました。

ユニット製品につきましては、電子部品業界及び液晶製造装置向けに販売した結果、売上高は53,774千円と前年同四半期と比べ9,255千円（20.8%）の増加となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,076,750千円となり、前連結会計年度末と比べ89,282千円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金53,417千円、受取手形及び売掛金27,313千円及びたな卸資産12,209千円の減少によるものであります。

負債は1,094,870千円となり、前連結会計年度末と比べ81,621千円の減少となりました。主な要因は、借入金79,314千円の減少によるものであります。

純資産は2,981,880千円となり、前連結会計年度末と比べ7,660千円の減少となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は73.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、596,149千円となり、前連結会計年度末と比べ53,417千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費47,924千円及び売上債権の減少額24,510千円による資金の増加に対し、税金等調整前四半期純損失が25,367千円であったことにより、得られた資金は66,732千円（前年同四半期は68,331千円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出25,939千円により、使用した資金は36,947千円（前年同四半期は48,130千円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出79,314千円により、使用した資金は84,945千円（前年同四半期は102,514千円の支出）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、12,403千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,720,000
計	18,720,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,245,000	6,245,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株 であります
計	6,245,000	6,245,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		6,245,000		717,495		664,455

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
尾崎 浩太	東京都世田谷区	1,123	17.98
尾崎 文彦	埼玉県川越市	1,021	16.34
尾崎 久壽彌	埼玉県所沢市	694	11.12
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	134	2.14
山崎 哲靖	千葉県流山市	119	1.90
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川4丁目12番3号	113	1.80
大塚 勝洋	東京都荒川区	100	1.60
小泉 秀樹	埼玉県川越市	90	1.44
土井 雅晶	大阪府泉南郡熊取町	86	1.37
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	84	1.34
計	-	3,565	57.09

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,240,000	6,240	
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	6,245,000		
総株主の議決権		6,240	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式750株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ヒーハイト精工 株式会社	埼玉県川越市今福580番地1	1,000		1,000	0.02
計		1,000		1,000	0.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	759,566	706,149
受取手形及び売掛金	513,697	486,383
電子記録債権	-	3,600
製品	146,855	183,351
仕掛品	301,611	286,137
原材料及び貯蔵品	306,869	273,637
その他	40,573	55,202
流動資産合計	2,069,174	1,994,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	757,989	735,129
機械装置及び運搬具(純額)	118,493	118,428
工具、器具及び備品(純額)	21,549	23,212
土地	1,063,504	1,063,504
リース資産(純額)	78,868	72,902
建設仮勘定	-	766
有形固定資産合計	2,040,404	2,013,944
無形固定資産	4,514	4,564
投資その他の資産	51,940	63,780
固定資産合計	2,096,859	2,082,288
資産合計	4,166,033	4,076,750
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	216,444	191,455
電子記録債務	-	34,528
1年内返済予定の長期借入金	151,208	114,770
リース債務	11,318	11,429
未払金	19,960	16,740
未払法人税等	6,215	2,458
賞与引当金	8,668	14,664
営業外支払手形	14,048	9,980
その他	32,965	24,075
流動負債合計	460,827	420,102
固定負債		
長期借入金	539,658	496,782
リース債務	67,766	62,023
退職給付引当金	51,478	55,219
役員退職慰労引当金	56,011	60,636
その他	750	107
固定負債合計	715,664	674,768
負債合計	1,176,491	1,094,870

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	717,495	717,495
資本剰余金	664,455	664,455
利益剰余金	1,604,148	1,590,295
自己株式	183	183
株主資本合計	2,985,914	2,972,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	531
為替換算調整勘定	3,547	9,287
その他の包括利益累計額合計	3,626	9,818
純資産合計	2,989,541	2,981,880
負債純資産合計	4,166,033	4,076,750

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	621,474	709,460
売上原価	452,850	536,188
売上総利益	168,623	173,272
販売費及び一般管理費	197,600	201,772
営業損失()	28,977	28,500
営業外収益		
受取利息	71	73
還付加算金	119	-
為替差益	-	6,311
その他	284	156
営業外収益合計	474	6,541
営業外費用		
支払利息	2,874	4,424
為替差損	2,912	-
営業外費用合計	5,786	4,424
経常損失()	34,289	26,383
特別利益		
固定資産売却益	-	1,215
特別利益合計	-	1,215
特別損失		
固定資産除却損	-	200
特別損失合計	-	200
税金等調整前四半期純損失()	34,289	25,367
法人税等	14,203	11,515
少数株主損益調整前四半期純損失()	20,086	13,852
四半期純損失()	20,086	13,852

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	20,086	13,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	452
為替換算調整勘定	309	5,739
その他の包括利益合計	20	6,191
四半期包括利益	20,065	7,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,065	7,660

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	34,289	25,367
減価償却費	47,536	47,924
賞与引当金の増減額(は減少)	6,000	5,996
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,741	3,740
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,335	4,625
受取利息及び受取配当金	71	92
支払利息	2,874	4,424
有形固定資産売却損益(は益)	-	1,215
有形固定資産除却損	-	200
売上債権の増減額(は増加)	42,327	24,510
たな卸資産の増減額(は増加)	29,822	16,971
仕入債務の増減額(は減少)	74,371	6,283
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,186	3,432
その他の流動負債の増減額(は減少)	3,879	9,839
その他の固定資産の増減額(は増加)	255	-
小計	48,972	74,729
利息及び配当金の受取額	71	92
利息の支払額	2,877	4,395
法人税等の支払額	16,553	3,694
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,331	66,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,000	-
投資有価証券の取得による支出	18	18
有形固定資産の取得による支出	45,682	25,939
有形固定資産の売却による収入	598	70
無形固定資産の取得による支出	2,000	600
貸付金の回収による収入	30	60
その他	11,058	10,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,130	36,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	102,438	79,314
自己株式の取得による支出	10	-
リース債務の返済による支出	-	5,631
配当金の支払額	65	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,514	84,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	304	1,743
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	218,672	53,417
現金及び現金同等物の期首残高	643,354	649,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	424,682	596,149

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	822 千円	千円
支払手形	37,536 "	"
営業外支払手形	10,374 "	"

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
役員報酬	34,830千円	37,800千円
給料手当	29,620 "	33,437 "
支払報酬	21,269 "	18,777 "
研究開発費	18,135 "	12,403 "
租税公課	15,034 "	14,299 "
役員退職慰労引当金繰入額	4,665 "	4,625 "
賞与引当金繰入額	1,315 "	3,947 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
現金及び預金	534,682千円	706,149千円
預入期間が3か月を超える定期預金	110,000 "	110,000 "
現金及び現金同等物	424,682千円	596,149千円

(株主資本等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、精密機器製造事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	3円22銭	2円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	20,086	13,852
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	20,086	13,852
普通株式の期中平均株式数(株)	6,243,308	6,243,250

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

ヒーハイト精工株式会社

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 前 田 裕 次 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鶴 見 寛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヒーハイト精工株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ヒーハイト精工株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。